

平成30年度

事業名	空家等対策推進事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	都市計画費		
所属(部) (課)	街づくり部 都市政策課	目	都市計画総務費		
		総計	3-1-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	5,565		非常勤職員報酬		257
	国補助	2,376		印刷製本費		148
	府補助			事務業務委託料		4,995
	市債			使用料及び賃借料		41
	その他			個人補助金		2,500
	合計	7,941				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市内空家等の流通・利活用を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接地等取得費補助事業</li> <li>・空家等改修費補助事業</li> <li>・空家等所有者の特定および意向確認調査</li> <li>・専門家チームによる相談会 など</li> </ul>	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
内容	平成 32 年度まで大東市空家等対策計画に位置付けている施策を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修費補助事業は、年度内に制度要綱を施行、周知後に補助を実施</li> <li>・専門家チームによる相談会(3回)</li> <li>・上半期に所有者を特定し、下半期に意向調査を行い、利活用を促進</li> </ul>	

内容		目標	
指標	大東市人口	総計	H32 130,000 人
		KPI	H32
	補助金の申込件数(年間)	独自	H32 改修補助 10 件/隣接地等取得費補助 10 件
	人権行政の視点	市民の生存権および財産権を確保することに寄与	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	多様な暮らし方を支援する住まい・まちづくりを推進する(住マス基本方針 5)	利活用等を促進することにより空家等の数を減らす

平成30年度

事業名	景観形成推進事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	都市計画費		
所属(部) (課)	街づくり部 都市政策課	目	都市計画総務費		
		総計	3-1-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)		
	一般財源	3,341		非常勤職員報酬		341
	国補助			事務業務委託料		3,000
	府補助					
	市債					
	その他					
	合計	3,341				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	本市が有する特性を活かし、良好な景観形成を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観行政団体移行に向けた府との協議</li> <li>・景観計画および景観条例の検討</li> </ul>	
	<p>全体のスケジュール</p> <p>平成 31 年度に、景観行政団体として景観計画および景観条例の運用を開始する</p>	<p>今年度のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観審議会の設置(5月)</li> <li>・景観行政団体移行の府協議</li> <li>・景観計画案作成</li> <li>・景観条例案作成</li> </ul>	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	景観条例制定・景観計画策定	独自	H31
			100%
	人権行政の視点	健康で文化的な生活権の保障と、より快適で豊かな生活の保障に寄与	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	自然景観の保全に努めるとともに、調和のとれた魅力とうるおいのある都市景観を形成する(都市マス 4-5)	景観形成基準を定め、良好な景観形成を誘導する

平成30年度

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	道路橋りょう費		
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路維持費		
		総計	3-3-3	予算書頁	

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
業費	一般財源	27,356	事務業務委託料	31,891
	国補助	99,199	設計委託料(費用)	38,476
	府補助		新設改良工事請負費(国)	139,988
	市債	83,800		
	その他			
	合計	210,355		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	①橋梁長寿命化②橋梁点検③住道デッキ ④道路ストック	①橋梁補修設計 3 橋、補修工事 1 橋、重要橋梁 21 橋の見直し②52 橋点検③住道駅前デッキ歩廊 点検④舗装工事	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	①全 21 橋の市内の重要橋梁の維持修繕 ②5 年に 1 回、市管理橋梁 117 橋を点検 する ③住道デッキ補修 ④市内の 1、2 級路線の劣化した舗装の修 繕事業	①重要橋 3 橋の補修設計、重要橋 1 橋の補修工 事、重要橋梁 21 橋の見直しを行う。②橋梁定期点 検要領に基づく点検を行う(2 ヶ年計画の 2 年目)。 ③住道デッキ補修設計及び歩廊の点検を行う。④ 舗装劣化度のランク 1 位の路線の補修(4 ヶ年計画 の 2 年目)	

内容		目標	
指標		総計	H33
		KPI	H32
	単年度達成率(事業費ベース)	独自	H30 100%
	人権行政の視点	長寿命化修繕計画を進めることにより地域の安全性 を確保し市民の安全で快適な生活を確保する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	橋梁の経済的な管理を計画的に実施 するために、事後的な架け替えよりも 予防的な修繕によるコスト圧縮を行う	道路網の安心と安全の確保

平成30年度

事業名	道路新設改良事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	道路橋りょう費		
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路新設改良費		
		総計	3-3-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	28,059		事務業務委託料	9,493
	国補助	120,217		設計委託料(資産)	7,299
	府補助			測量ホ-リング委託料(費用)	5,083
	市債	97,400		鑑定委託料	1,617
	その他	21,533		新設改良工事請負費(国)	218,578
	合計	267,209		新設改良工事請負費(単)	16,767
				建設負担金	8,372

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道の車道及び歩道の改良</li> <li>・現道の交差点の歩道段差の改良</li> <li>・人、車等の円滑な通行と安全確保のため現道を拡幅</li> <li>・道路拡幅及び交差点改良設計</li> </ul>	道路新設改良に必要となる業務委託・工事を行う	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	「大東市バリアフリー基本構想」及び「大東市地域防災計画」に基づき歩道の拡幅・段差解消等バリアフリー化の整備や狭小な道路の拡幅整備を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国費案件については6月中旬の交付決定を目途に発注手続きを行う</li> <li>・単独費案件については新年度の早期に発注手続きを行う</li> </ul>	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	単年度達成率(事業費ベース)	独自	H30 100%
	人権行政の視点	歩道幅員の拡幅、バリアフリー化を進め、あらゆる市民の安全で快適な生活の確保、充実を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	道路環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全な道路機能の向上</li> <li>・防災拠点へのアクセス向上</li> </ul>

平成30年度

事業名	北条踏切改良事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	道路橋りょう費		
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路新設改良費		
		総計	3-3-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	3,856		事務業務委託料 鑑定委託料	3,084
	国補助				772
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	3,856			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	現道の北条踏切および前後道路を拡幅し、歩道を新設して通行の安全を確保する	事業予定地の用地取得に係る土地境界確定・物件調査・土地鑑定評価を行う	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	用地取得準備(H30) 道路詳細設計・土質調査・用地取得(H31) 道路工事(H32) 踏切内工事(H33)	・土地境界確定 ・物件調査 ・土地鑑定評価	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業進捗率	独自	H33
	人権行政の視点		100%
人権行政の視点		踏切拡幅により歩道の新設をし、歩行者通行の安全確保、充実を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	人・車等の通行の安全確保及び利便性向上	踏切および前後道路の拡幅

平成30年度

事業名	深野北谷川線新設事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	都市計画費		
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	深野北谷川線新設費		
		総計	3-3-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
一般財源	16,218	事務業務委託料			5,328
国補助	27,957	設計委託料(資産)			35,479
府補助		鑑定委託料			5,210
市債	17,200	国・土地購入費			15,358
その他					
合計	61,375				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	本市の南北を貫く幹線道路として、また広域避難地大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路 深野北谷川線の整備を行う	①事業予定地の用地取得に係る土地境界確定・詳細設計を行う ②旧権現川接続部の用地買収を行う	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	①橋梁設計・道路設計・境界確定(H30) 土地鑑定・補償費算定(H30~32) 用地買収・物件補償(H31~33) 道路工事(H34~37) ②土地鑑定・用地買収	①4月 土地境界確定 6月 道路詳細設計 ②4月 土地鑑定 8月 用地買収	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業進捗率	独自	H37 100%
	人権行政の視点	道路整備によるアクセス道路の確保により、地域住民の安全確保、充実を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	都市の防災性向上及び道路環境の改善	安心・安全な道路機能の向上 防災拠点へのアクセス向上

平成30年度

事業名	花と緑のまつり事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	都市計画費		
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	緑化推進費		
		総計	3-2-3	予算書頁	

		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	910		その他負担金	930
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他	20			
	合計	930			

		全体の事業計画	今年度の事業計画
内容		「花と緑のまつり」により都市緑化に関する市民の意識高揚を図ります	第33回大東市花と緑のまつりを開催します
		全体のスケジュール	今年度のスケジュール
		・第33回大東市花と緑のまつりの開催(H30)	・まつりの開催(6月)

		内容	目標		
指標			総計	H32	
			KPI	H32	
		参加者数(延べ)	独自	H30	6,000人
		人権行政の視点	市民参加を促進することにより、地域コミュニティの醸成に貢献する		

		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
評価	目的	都市緑化の推進	市民の緑化意識の向上を図ります

平成30年度

事業名	都市公園再整備事業	区分	一般会計	
		款	土木費	
		項	都市計画費	
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	緑化推進費	
		総計	3-2-3	予算書頁

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	3,091		手数料(資産)	540
	国補助	199,509		事務業務委託料	2,550
	府補助			新設改良工事請負費(国)	488,172
	市債	423,800		新設改良工事請負費(単)	177,994
	その他	42,856			
	合計	669,256			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	供用開始後 20 年を経過した都市公園についてリニューアルを図り、地域特性に応じた特色ある公園整備をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新田中央公園および野崎中公園再整備</li> <li>・新田中央公園防災倉庫等新設</li> </ul>	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	新田中央公園再整備工事(H29・H30) 野崎中公園再整備工事(H30)	4月 新田中央公園 2期、野崎中公園整備費積算 新田中央公園防災倉庫等 整備費積算 5月 交付申請 7月 発注 3月 完了	

内容		目標	
指標	市民1人あたり公園面積	総計	H32 4.06 m <sup>2</sup> /人
		KPI	H32
	市内の都市公園の再整備率	独自	H42 100%
人権行政の視点		子供から老人まで、幅広い年齢層の市民に憩いの場を提供する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	魅力ある公園づくり	地域特性に応じた施設整備を図る



平成30年度

事業名	中垣内浜公園新設事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	都市計画費		
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	中垣内浜公園新設費		
		総計	3-2-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	13,278		手数料(資産)	266
	国補助	73,407		事務業務委託料	425
	府補助			鑑定委託料	582
	市債	81,800		新設改良工事請負費(国)	121,484
	その他			新設改良工事請負費(単)	5,877
	合計	168,485		国・土地購入費	38,000
				その他負担金	1,851

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	計画面積 約 1.5ha の施設整備	第 3 期 施設整備	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	第 1 期施設整備(H28) 第 2 期施設整備(H29) 第 3 期施設整備(H30) 事業用地買収 第 4 期施設整備(H31)	4 月 工事費積算 5 月 交付申請 5 月 事業用地買収 6 月 工事発注 3 月 整備完了	

内容		目標	
指標	市民1人あたり公園面積	総計	H32 4.06 m <sup>2</sup> /人
		KPI	H32
	全面供用開始	独自	H31 1.5 ha
	人権行政の視点	災害発生時の防災拠点を整備し、市民の生命・財産を守るとともに、平常時には憩いの場を提供する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	生活環境の向上	地域の防災拠点の形成を図る 地域のコミュニティの形成を図る

平成30年度

事業名	地域公共交通事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	道路橋りょう費		
所属(部) (課)	街づくり部 交通対策課	目	交通安全対策費		
		総計	3-3-1	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	66,459		非常勤職員報酬	771
	国補助	5,270		施設修繕料(費用)	67
	府補助			事務業務委託料	10,541
	市債			使用料及び賃借料	45
	その他			その他負担金	46,305
	合計	71,729		その他団体補助金	14,000

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	公共交通運行事業 公共交通体系の調査検討	公共交通体系の調査検討(コミュニティバスのルート再編・隣接他市との連携等)	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	各公共交通事業の運行継続および見直し(コミュニティバス・東部地域乗合タクシー・阪奈生駒線)	阪奈生駒線については、協定期限の終了に伴い、近鉄バス(株)と阪奈生駒線の路線継続に係る交渉を行う。公共交通体系については、市南部地域において平成29年度に実施した調査結果と、コミュニティバスのルート検証結果に基づいた運行計画を作成し、新ルートの運行を実施する。また、バスを中心とした隣接他市との連携も検討する	

内容		目標		
指標	阪奈生駒線(生駒登山口～寺川)の運行	独自	H31	継続
	コミュニティバス利用客数	独自	H31	179,000人
	コミュニティバス新ルートの運行実施	独自	H30	年度内運行
人権行政の視点		交通の利便性を向上させることは、生活をしていくうえでのあらゆる権利の実現に関連している		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 市内の移動手段について、利便性を高めるため、公共交通機関との連携を図る	利用者数・利用実態等を検証し、市民が利用しやすい公共交通を運行する	

平成30年度

事業名	放置自転車対策事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	道路橋りょう費		
所属(部) (課)	街づくり部 交通対策課	目	自転車対策費		
		総計	3-3-4	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	27,131		事務業務委託料	32,301
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他	5,170			
	合計	32,301			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	JR3 駅(住道・野崎・四条畷)周辺の自転車等放置禁止区域内において、放置自転車の啓発・移送を行う	左記参照	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○街頭啓発業務(平成 30 年度予定) JR3 駅周辺 年 290 日実施</li> <li>○移送業務(平成 30 年度予定) JR3 駅周辺 年 290 日実施</li> <li>○保管返還業務(平成 30 年度予定) 木曜日・祝日等を除く日の年 294 日実施</li> </ul>	左記参照(毎年度変更あり)	

内容		目標	
指標	放置自転車撤去台数の減少	総計	H32 2,923 台
		KPI	H32
		独自	
人権行政の視点		放置自転車等が引き起こす通行支障等の問題を啓発し市民の安全な通行の確保や景観の維持を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	歩行者の安全とまちの景観を守り、だれもが安心安全で暮らせるまちづくりを目指す	街頭啓発、移送業務、保管返還業務の継続

平成30年度

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	都市計画費		
所属(部) (課)	街づくり部 建築課	目	都市計画総務費		
		総計	3-5-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	6,905	印刷製本費 個人補助金		92
	国補助	9,925			19,850
	府補助	3,112			
	市債				
	その他				
	合計	19,942			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき住宅等の耐震化を推進し、安心・安全な生活環境を創造する	既存民間建築物を対象とした耐震診断、また木造住宅の耐震設計および改修工事、建替え等の促進のため住宅等の除却に関して補助するもの	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	平成28年度から平成37年度の10年間	耐震診断、耐震設計・改修補助に関する申込受付(4月～) ○補助制度に伴う広報活動 ・チラシの回覧 ・フェイスブック掲載など 除却補助は、年度内に要綱を施行、周知後に実施	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	補助金の申込件数	独自	H30 診断50戸/設計10戸 改修12戸/除却6戸
	人権行政の視点	大規模な地震による被害を最小限にとどめ、市民の生命権や財産権を守る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 建築物の耐震化の向上	補助制度の普及啓発を促進し、申込件数の増加を図る	

平成30年度

事業名	三世代家族推進事業	区分	一般会計	
		款	土木費	
		項	都市計画費	
所属(部) (課)	街づくり部 建築課	目	都市計画総務費	
		総計	3-1-2	予算書頁

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	10,060		印刷製本費 個人補助金	60
	国補助				10,000
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	10,060			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市内における三世代同居等を目的とした、転入、転居に要する費用及び、住宅の新築、購入、リフォームに要する費用の補助制度	市内における三世代同居等を目的とした、転入、転居に要する費用及び、住宅の新築、購入、リフォームに要する費用の補助制度	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	平成 27 年度から平成 30 年度の 4 カ年で実施	転入給付金、住宅取得等補助金の申込受付開始(4月～) ○補助制度に伴う広報活動 ・チラシの回覧 ・フェイスブック掲載など	

内容		目標	
指標		総計	H32
	助成金利用件数	KPI	H32 50件
		独自	
	人権行政の視点	三世代同居を推進することで、家族の絆を深め、思いやりの心、人を大切にする心を育む	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	人口流入・定住促進	補助制度の普及啓発を促進し、利用者数の増加を図る

平成30年度

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	都市計画費		
所属(部) (課)	街づくり部 駅周辺整備課	目	野崎駅・四条畷駅周辺整備費		
		総計	3-1-1	予算書頁	

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)
一般財源	40,638	普通旅費 消耗品費 印刷製本費	120 300 40
国補助	465,109	手数料	1,341
府補助		事務業務委託料 施設管理委託料	24,944 695
市債	538,900	設計委託料 工事監理委託料	22,248 996
その他	368,938	鑑定委託料	11,610
合計	1,413,585	使用料及び賃借料 新設改良工事請負費(単)	120 134,286
		国・土地購入費	199,578
		図書購入費	16
		庁用器具購入費	424
		建設負担金	477,459
		その他負担金	30
		国・建設事業補償金	539,378

内容		全体の事業計画	今年度の事業計画
内容		市東北部の振興を図るため、JR 野崎駅・JR 四条畷駅の周辺整備を行い、2 駅周辺で特色ある魅力的な整備を推進する	野崎駅橋上化整備工事に着手する。また、事業用地取得の推進を図るため、土地鑑定評価業務等を行い、用地購入および物件補償を行う
		全体のスケジュール	今年度のスケジュール
		整備期間は、平成 34 年度までを予定 【野崎駅周辺】 ・野崎駅橋上化整備工事 ・駅前広場、自転車駐車場整備等 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅前東線の整備 ・駅前広場、自転車駐車場整備等	【野崎駅周辺】 ・野崎駅橋上化整備工事着手 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅周辺事業用地取得等

指標		内容	目標
指標		野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	総計 H34 100%
		人権行政の視点	快適で豊かな市民生活の確保に資する

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
目的		・特色ある魅力的な整備 ・駅周辺の利便性の向上 ・主要アクセス道路等の安全性向上	野崎駅橋上化整備工事の推進 事業用地取得の推進

平成30年度

事業名	都市浸水対策事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	河川費		
所属(部) (課)	街づくり部 水政課	目	都市浸水対策費		
		総計	3-5-3	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	9,208		調査研究委託料	282
	国補助	27,446		設計委託料(資産)	10,140
	府補助			新設改良工事請負費(国)	70,173
	市債	47,500		新設改良工事請負費(単)	3,559
	その他				
	合計	84,154			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	集中豪雨等による浸水被害を軽減するために効果的な雨水貯留施設等の整備を進める	諸福中学校校庭貯留浸透施設実施設計業務委託 谷川中学校校庭貯留浸透施設整備工事	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	H31~H40 貯留施設整備実施設計および整備工事を順次実施	4月 業務委託費・整備工事費 積算 5月 交付申請 6月 設計業務、工事発注 8月 整備工事 完了 3月 業務委託 完了	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	小中学校の貯留施設整備率(箇所数)	独自	H40 100%
	人権行政の視点	内水排除等の施設を整備し、減災・防災の観点から市民の生命と財産を守る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	安心して暮らせるまちづくり	雨水貯留施設整備等のハード面の対策を進める

平成30年度

事業名	水路整備事業	区分	一般会計		
		款	土木費		
		項	河川費		
所属(部) (課)	街づくり部 水政課	目	河川改修費		
		総計	3-2-2	予算書頁	

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	50,707		調査研究委託料	1,011
	国補助	101,463		設計委託料(資産)	12,230
	府補助			新設改良工事請負費(国)	253,659
	市債	136,900		維持補修工事請負費(費用)	4,480
	その他			単・建設事業補償金	1,490
	合計	289,070		その他補償金	16,200

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	水路の修景整備などを実施することで、水路の環境改善を図り、市民に親しまれる水辺環境を創出する	灰塚水路詳細設計および土質調査業務委託 新田地内水路整備工事 他 1 件	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	灰塚水路整備工事(H31~H33) 新田地内水路整備工事(H29~H32)	4月 交付申請、業務委託費 積算 6月 灰塚水路設計業務委託発注及び 新田地内水路整備(債務負担)工事発注 3月 灰塚水路設計業務委託 完了 6月 新田地内水路整備(債務負担)工事完了	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	整備工事進捗率(延長)	独自	H33 100%
	人権行政の視点	地域の実情を十分に把握し、地域住民の快適な生活を実現するための整備を実施する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 水辺の保全と活用	都市にうるおいを与え親しまれる水辺環境を創出する水路整備を進める	